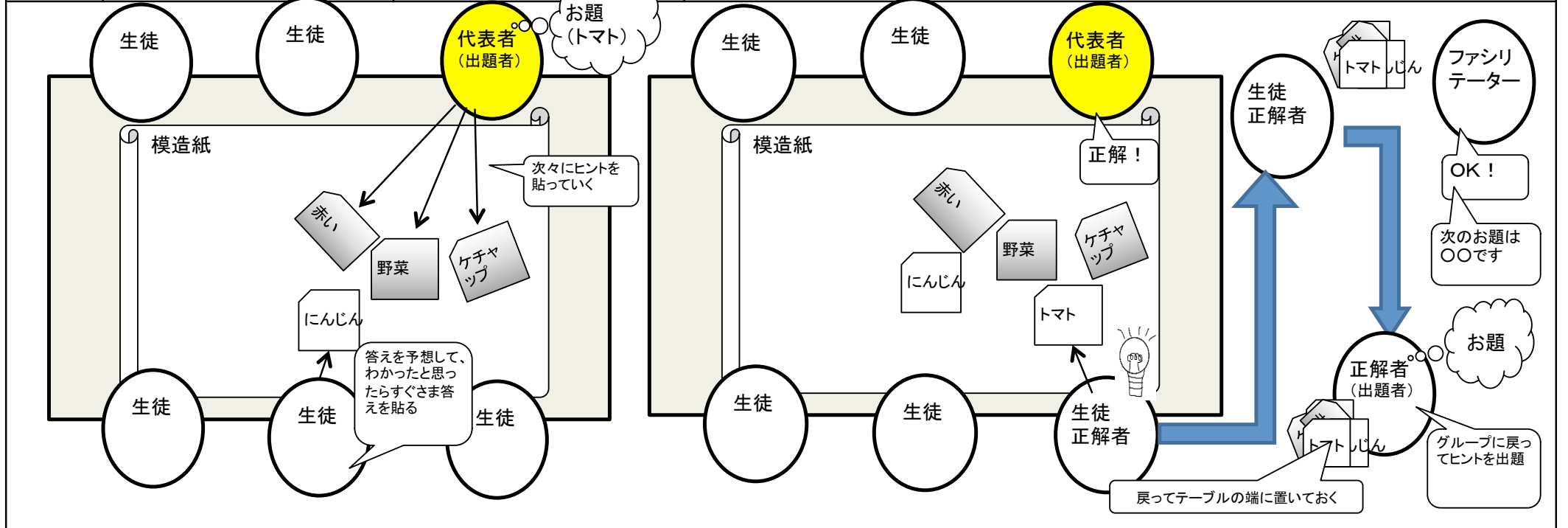
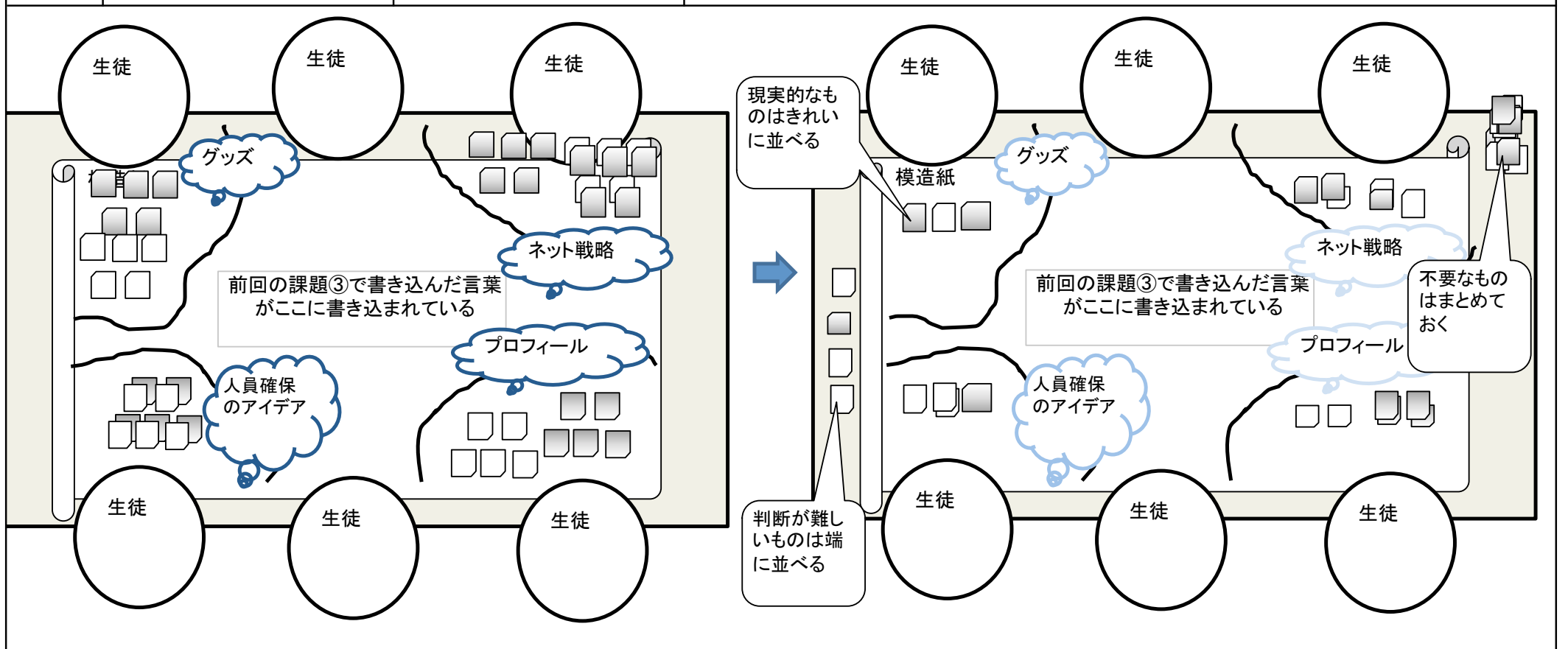


11月18日	水	社会人マナー講座 ③ 4時間力 カウント	進路	③ブレインストーミング(模造紙のまとめー プレゼン準備) 模造紙作成に向けた企画書提出	食堂	・いくつかの分野分けしたアイデア出しー見学(前回まで)→現実的なものを選ぶ→提言 まとめ。 ・ファシリテーターから、ポスターセッションの内容説明。魅力的なポスターとは？盛り込 むべき内容とは？ ・自分たちで絞ったアイデアを一つの提言として模造紙にまとめるためグループごとに企 画書用ワークシート記入。 ・今後の活動について。マニュアル配布。
--------	---	-------------------------------	----	---	----	--

8:50 13:15 17:30	課題① ウォーミングアップ (15~20分間) キーワードで連想ゲーム →「伝える」「伝わる」とは？	付箋、裏紙でも可を各テーブルに 余裕をもって配置 机間指導 理解度を確認 支援 積極的に介入してください	0: 模造紙は開いて、裏にして机に広げる。 & ルール説明(付箋を使わないで、練習を一回入れてもいい) 1: 代表者一名がファシリテーターのサポート教員のところに行って、お題を確認 *ここからは「一言もしゃべらない」というルールを徹底する。 2: 代表者はお題を連想させるヒント(ワード)を付箋に記入し、班員の前に貼る。 3: 班員は答えがわかった段階で、答えを付箋に記入して前に貼る(何枚でも可) 4: 正解が出た時点で、正解者はすべての付箋を回収し、ファシリテーター(サポート教員)に見せに行く。(見せた 付箋はまた、テーブルに持ち帰る。) 5: 正解者は、次のお題を受け取り、代表者として班員にヒント(ワード)を同じく提示 6: 時間内により多くの正解を出したチームの勝ちとする(全体で制限時間8~10分程度) ※終了後、すべての付箋を振り返らせ、「ものを伝えることの難しさ、伝わったときの喜び」を確認する。→ポスター 作りの時にも、見出し一つの言葉選びに十分注意して取り組むようまとめる。
------------------------	---	---	---



9:10 13:35 17:50	課題② 吟味(20~25分間) 実現可能なアイデア選び →現実的に考える	付箋紙の配布・補充 机間指導 理解度を確認 支 援 積極的に介入してください	0: 模造紙を表面に戻し、前回の内容を振り返る。 1: ファシリテーターから改めてレクチャー(10分程度)(あくまで一例) *ポスターセッションは、仲間内での見せっこではなく、「依頼者が君たちの企画を見に来る」というこ ろに緊張感を持たせたい。 2: レクチャーを踏まえ、前回仲間わけした付箋を「現実的なもの(実現可能そうなもの)」と「非現実的なもの (実現が難しそうなもの)」に分類する。必ず班で話し合いを持ちながら。 *現実的なものをその場に置き、非現実的な付箋をどんどん外していく。不明なものは模造紙の端に生 かしておく。類似するものは重ねておく。(10分程度)
------------------------	--	---	---



課題③ 反転(15分程度)
依頼者の感想・反応を考える
→他者の立場に立って考える

付箋紙の配布と補充
机間指導 理解度を確
認 支援
積極的に介入してくださ
い

9:35
14:00
18:15

1:それぞれのアイデアに対し、依頼者(商店街の方)や利用者(商店街を訪れる人たち)、区役所の人(区政推進課の人)やみなみやげを見た人(消費者)、の反応を付箋に書きこみ、アイデアの付箋の近くに貼っていく。一人10枚以上(10~15分間)

そのアイデアに対して、依頼者や利用者がどのように思うかを考え、反応を貼っていく。

